



潜在化しているニーズに  
適切な情報を届ける拠点を目指して

株式会社アシテック・オコ 小林 大作



# INDEX

---

1. 連携拠点の体制
2. 普及に向けて今年度に取り組む事業
3. 当事者への対応から考える拠点のあり方
4. 来年度以降に向けてのあり方

# Ⅰ.連携拠点の体制



## アシテック・オコ

- ・ つばめ在宅クリニック
- ・ 和歌山県立医科大学附属病院  
脳神経内科 ALSクリニック

- ・ 一般社団法人 幹
- ・ 特定非営利活動法人near
- ・ 紀いけあ
- ・ 和歌山県医療的ケア児等支援センター

保健所、特別支援学校、福祉用具貸与事業、職能団体

当事者だけでなく、支援者も含めて情報を届ける

難病患者

医療的ケア児

障害児・者

## 2.普及に向けて今年度に取り組む事業

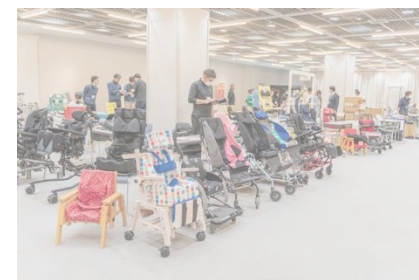
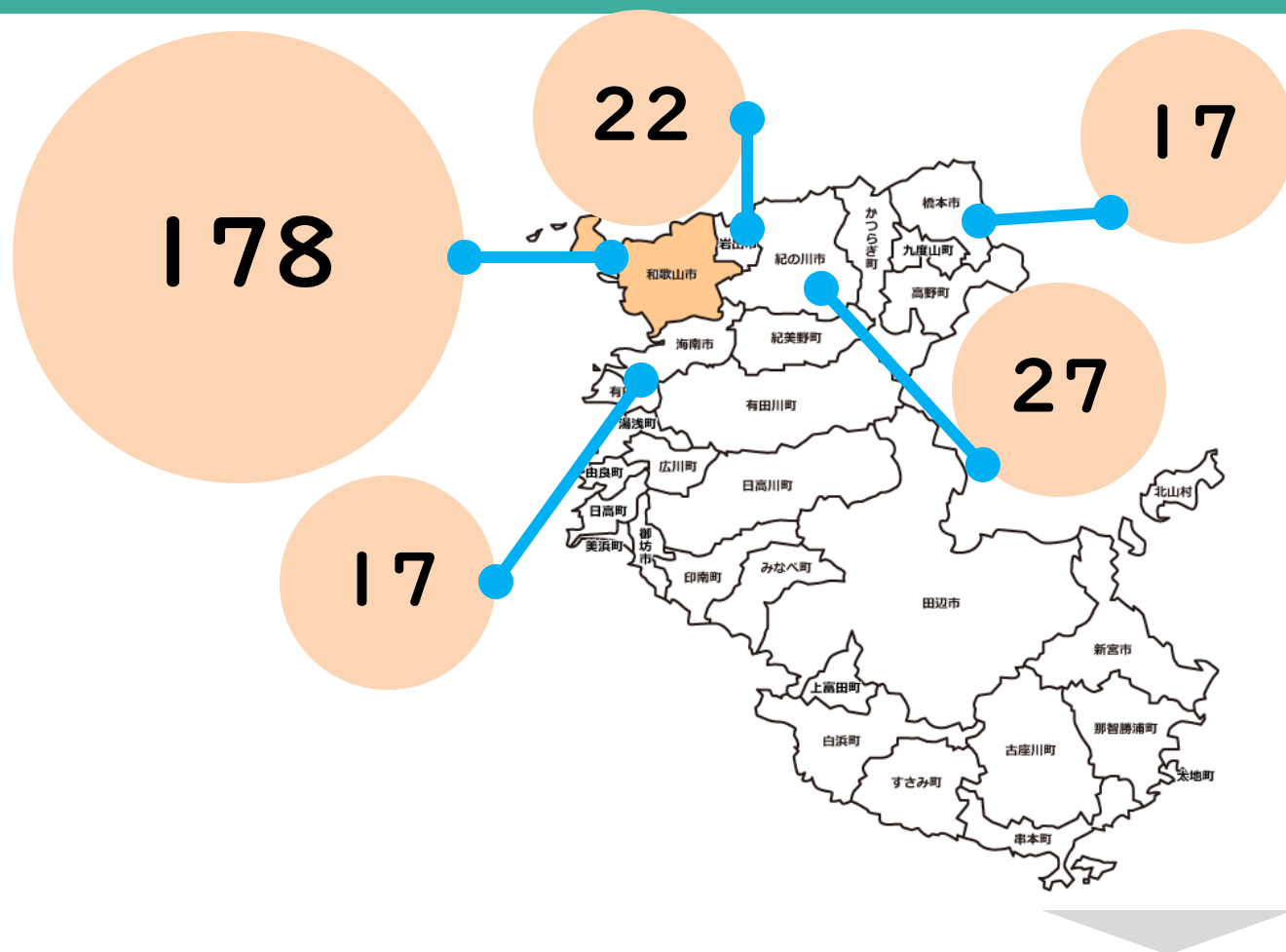


「情報」に着目して、  
普及に向けての  
ボトルネックを考える

(予定)

相談支援専門員を対象にアンケート調査  
福祉機器点や家族会などへの協力とアンケート調査  
難病患者への支援機器の研修会の開催と受講者へのアンケート調査  
特別支援学校、保健所、職能団体と連携を協議

# わかやま子どもの福祉機器ラボ2025



## 参加者数

261 / 287

## 定点的な拠点の限界が推察できる



# 和歌山県医療的ケア児等支援センター主催 家族交流会

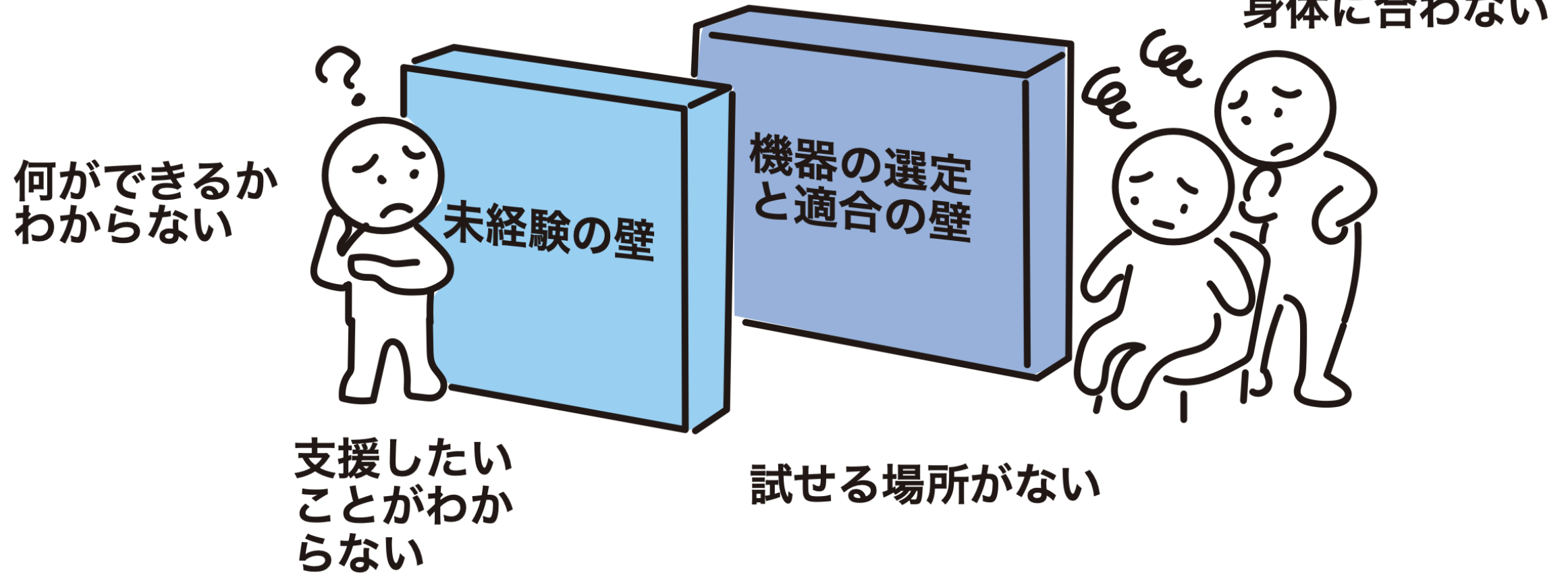


当事者・支援者で作るコミュニティへの参画

コミュニティを通じた相談窓口を作る

# アンケートから見えてくること

経験していないことは言語化できない



### 3. 当事者への対応から考える拠点のあり方



支援技術が蓄積されている  
支援機器



支援技術を蓄積し始めた  
支援機器



それぞれで求められるあり方が異なる



# 支援技術が蓄積されている支援機器



介助が大変で  
リフトを検討

訪看より紹介  
されて相談



車椅子での姿勢  
を改善。飲水  
できるように

母親がSNSで  
知り相談

標的課題への対応を見立て、直接支援者と連携

# 支援技術を蓄積し始めた支援機器



勉強をもっと  
やりやすく  
(四国から相談)



自分でエアコン操作が  
できるようになりたい  
(九州から相談)

## 支援技術を蓄積し始めた支援機器

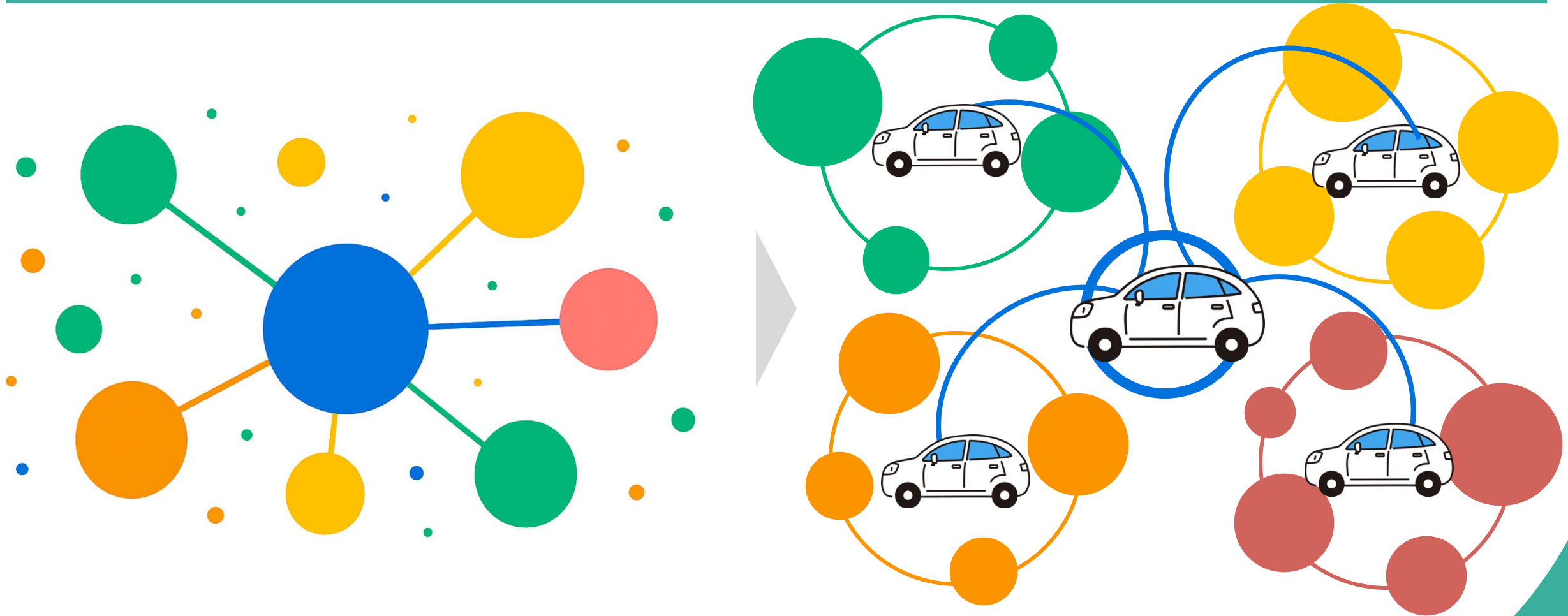


ゲームが快適に  
プレイできるよう  
(東京から相談)

専門的かつ社会保障での対応が難しい場合も多く、  
直接支援の役割を担いつつ見立てを立てる



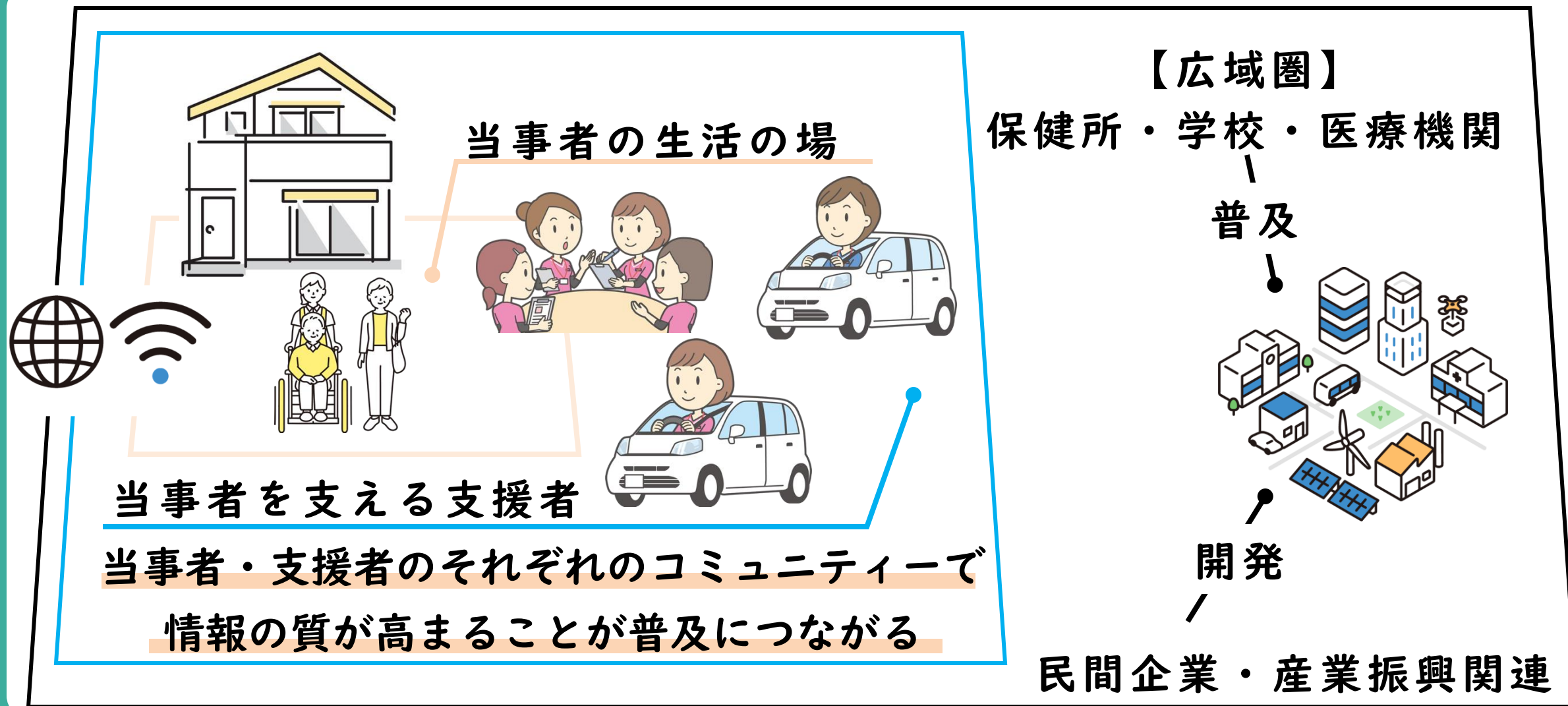
## 4. 来年度以降に向けてのあり方



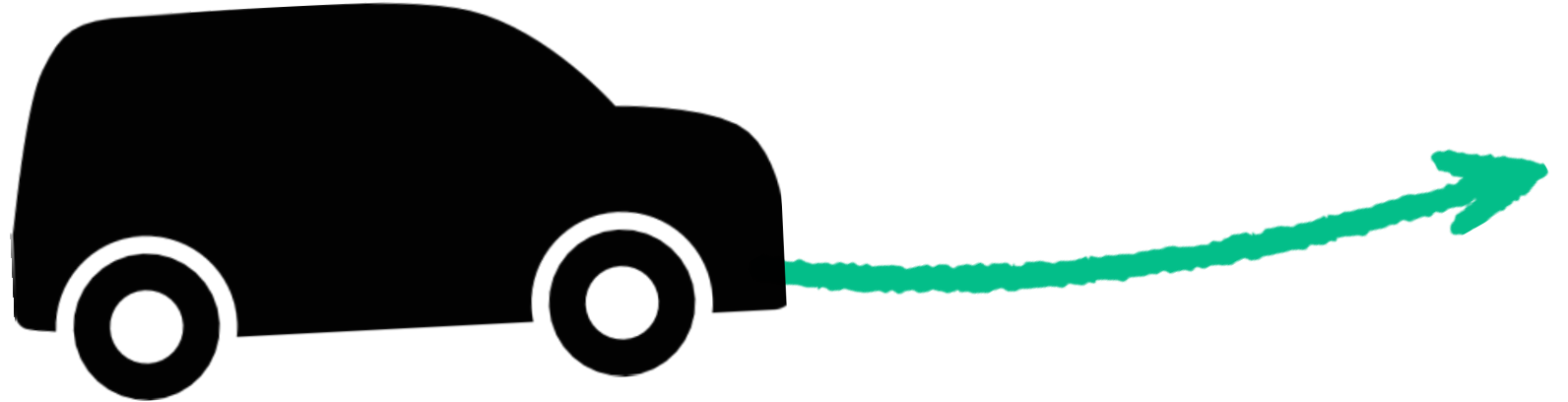
当事者の生活の場に近いコミュニティを窓口に



# 広域圏の保健所や特別支援学校との連携を目指す



# 地域特性に応じた連携拠点の実現に向けて



- 安定した財源基盤のもとでの計画の推進
- 専門性を備えた人材の確保
- 地域を支える専門人材の育成

- 当事者が情報を得て、相談できるネットワークの構築
- 支援者から提供される情報の量と質の向上
- 特別ではなく一般の文脈での情報検索の方法の構築